



# 未来を夢見て

2020/4/15 No. 2

## 学校再開 5月7日に延期

4月15日(水)、天気予報では確か最高気温が20℃近かったように思います。室内にいと感じませんが、確かに校庭に出てみると温かい風が心地よく感じます。

今朝は朝から2回、偶然ビバルディの四季「春」を耳にしました。1度目はNHKBSの名曲アルバム、2度目は通勤途中にラジオから流れた「春」です。2つの曲のアレンジは違いますが、どちらの演奏からも春を迎える喜びが伝わってきます。校庭から見える泉ヶ岳や北泉ヶ岳も今日は少し春の装いをしているように感じます。

4月上旬に開花した本校の桜も、まだ咲き誇っていていますが、日に日に花びらが散っていくのは分かっている寂しく感じます。昇降口には一足早くお知らせした学級名簿と担任名の掲示とともに、先生方からの「みんなまってるよ! はやくあいたいね」の掲示物が1日も早い学校再開を願って掲示されたままです。

4月13日(月)臨時の校長会が大和町役場で開催され、5月6日までの臨時休校の延長が決まりました。仙台市で感染した児童が出たために、予想していたことではありませんが、臨時休校の延期が現実になりました。3月2日の臨時休校の発表から、2ヶ月を超える長丁場になります。

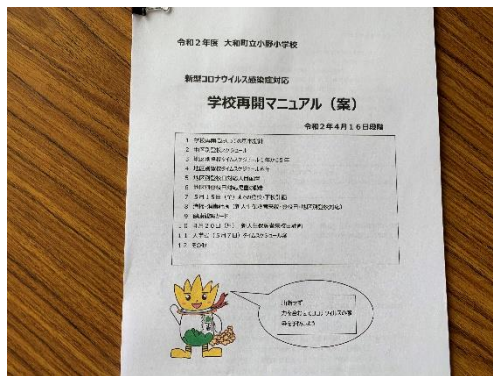
早速学校に戻り、5者会(校長、教頭、主幹、教務)に報告し、今後の対応について相談しました。

校長会議後の校長会でも「入学式はどうする?」「登校日は?」「始業式は?」「教科書は・・・」。それぞれ学校事情があって対応は様々です。

学校再開が5月7日になったことで、本校での喫緊の課題は教科書配布です。この点は、感染予防に万全を期したうえで21日(火)に地区別登校を実施し、短時間で休業中の課題とともに配布することになりました。また、入学式を予定していた20日(月)には1年生の保護者の皆様に御来校いただき、入学通知書の確認と教科書の配布を行うことで計画を進めました。このように書くと簡単なようですが、その実現には島貫先生や、堀田先生が大変極めの細かい計画を作成し、支えてくださっています。

全てが前例のない取り組みです。1つ1つ時間がかかり、職員の皆さんと**情報と認識の共有**が最も大切です。そこで、現在、学校再開に向けた取り組みについて、小野小の全職員、そして保護者の皆さんとの共通理解のために「学校再開マニュアル」を作成しています。

毎日、新型コロナウイルス感染症のことと学校再開で頭が一杯ですが、思わず流れたビバルディの爽快な調べに、ひとときではありますが、少し心が癒やされた春の1日でした。



(文責: 手代木)